

令和6年度 浜松市立内野小学校 学校評価報告書

I 令和6年度の取り組み

〈う〉 美しい心の子	〈ち〉 知恵を出し合い学ぶ子	〈の〉 のびのび元気な子
☆思いやりの心、親切な心で周りの人と接する子 ☆自他を大切に、節度をもって生活する子 <具体的方策> ア思いやりや親切の心の育成 イ基本的生活習慣の確立 ウ子供同士の関わり方の支援	☆目標をもって学び、付けた力を生かす子 ☆相手の考えや思いに素直に耳を傾け自分の考えを伝えられる子 <具体的方策> ア一人学びの充実と目的のある自然発生的な対話 イ効果的な振り返り（見つめる時間）の実施と活用	☆進んで運動に親しみ、楽しむ子 ☆自ら考え、健康・安全に気を付けて生活する子 <具体的方策> ア実態に応じた体育科の学習の充実 イ健康・安全教育、防災教育の推進と実践 ウ家庭との連携

(%)

II アンケート結果・評価

		児童	保護者	職員	数値目標
〈う〉 美しい 心の子	学校には、自分がかんばれることや、楽しみにしていることがある。	96	95	97	80
	夢や目標をもって、一生懸命に取り組んでいる。	93	89	97	80
	「ふわふわ言葉」を使い、自分や友達のことを大切にしている。	96	91	84	80
	友達や地域の人に自分から挨拶をしている。	82	75	50	80
〈ち〉 知恵を 出し合い 学ぶ子	授業中、自分の考えをもつことができている。	92		86	80
	授業中、ペアやグループ、学級全体の場などで、自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりすることができる。	94		88	80
	授業の「見つめる時間（ふりかえり）」には、身に付いた力を振り返ったり、その後の学習や生活につなげたりすることができる。	90		71	80
〈の〉 のびのび 元気な子	進んで運動したり、外で遊んだりしている。	84	74	92	80
	学校では、安全に、安心して過ごすことができている。	98	97	93	80
	「早寝、早起き、朝ごはん」ができている。	86	85	94	80
連携	学校は、家庭や地域と連携して、教育活動を行っている。		94		80
	子供のことについて、心配なことは学校に相談できている。		93		80

○ 職員の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・「学校には、自分がかんばれることや楽しみにしていることがある」「学校では、安全に、安心して過ごすことができている」の項目が、3者（児童、保護者、教職員）ともに高い評価となっている。 ・挨拶への意識向上が必要。 ・PDCAサイクルが身に付いていないと感じている教職員が多い。今後の生き方につながる大切なことなので、指導方法を改善したい。 ・帰宅後の外遊びが減っている。学校生活の中で、体を動かす機会を確保することが大切。

III 学校運営協議会による学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶については、地域の大人たちから声を掛け、挨拶をし続けていきたい。 ・学校の教育活動にもっと関わることで、挨拶しやすい関係を築きたい。 ・帰宅後、子供たちが自由に外遊びできる場所が減っている。 ・子供は限度がわかっていない発達途中。いじめ問題については、周囲が丁寧に対応するとよい。 ・いじめを完全に防ぐのは難しいが、地域の大人、先生たちで見守ることが大切。

IV 今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「明日の学校は、これが楽しみ！」 そう思える仕掛けをつくり出し、子供たち一人一人の居場所づくりに努める。 <input type="checkbox"/> 「なぜ挨拶が必要なのか」を児童と一緒に考える機会を設定する。自分から進んで挨拶をしてみたくなる環境を整えていく。 <input type="checkbox"/> 身に付いた力を振り返って次につなげていくために、「目標の共有」を行う。見通しをもって学習を進めていく。 <input type="checkbox"/> 引き続き子供たちが、安全に、安心して過ごすことができるように、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた取り組みを日常的に進めていく。 <input type="checkbox"/> 心と体のつながりを考え、授業の中で運動のきっかけづくりを意識的に行っていく。
--